



多彩な働き方

仕事と家庭の両立 会社の応援があって実現した在宅勤務

株式会社 日吉

西村亜智 さん



【西村さん】三重県出身。2000年に入社、米国での生活経験を活かし海外事業部門で活躍。引越しを機に2013年から在宅勤務。

Data

株式会社 日吉

滋賀県近江八幡市北之庄町908番地(本社)
0748-32-5111(代)
<http://www.hiyoshi-es.co.jp/>

職員数 290人(男性209人、女性81人)

業種 環境測定分析、施設維持管理、
薬品販売、廃棄物処理 他

- 女性活躍推進認証企業
(二つ星企業滋賀県27認証第3号)
- くるみん認定企業



日吉に入ることで見つけた適性

父の転勤についていき小学6年生から4年半、アメリカで暮らしました。日常レベルの会話はできるようになりましたが、英語に興味があったわけはありませんでしたので、帰国後は農学部に進学。そこで分析の仕事に興味をわき、専門学校を経て日吉に入社しました。

しかしながら、日吉では営業や広報の仕事をする事になりました。当時日吉は、一年目の研修期間にすべての部署を経験するのですが、その期間に分析よりも対外的な折衝等の仕事や、広報の面白さに目覚めたためです。そうして、技術部コンサル課で営業に近い活動をしながら、ホームページといった広報物の制作に携わりました。新たな取り組みとして始めた水質分析の通販サイトは、女性目線の提案も取り入れられ、営業範囲を全国へと広げたのみならず、BtoBの事業領域をB to Cに広げる予想外の反響をもたらしてくれました。

同時に、当社は80年代から国際貢献を続けており、常時海外研修生を受け入れていましたので語学スキルを買われ社内通訳をしていましたが、ア

ジア圏との取引が本格化した2006年には新しく設立された海外事業企画室に配属となりました。

引越しを機に在宅勤務へ

海外事業企画室に配属されてからの2年間は、ちょうど一人目の子どもが3歳となり、時短勤務を終える時期と重なりましたが、自宅も近く、会社も子育てを応援してくれましたので、仕事と家庭のバランスをうまくとることができました。

しかし、夫が専業農家となり、そのため新しく建てた家へ引っ越した2009年からは春秋の繁忙期をはじめ余暇は農業の手伝いをするように。2010年には二人目の子どもも生まれました。一方、通勤時間は片道5分から1時間に延び、海外とのやり取りは時差も伴うため、このままでは仕事と家庭の両立は困難だと思い、2013年に退職を願い出ました。

すると継続できる可能性を探ろうと会社が配慮してくれ、試験的に在宅勤務を始めることになったのです。会社のサーバーにログインするための通信環境を整えていただき、日ごろの業務は海外とのやり取りを含めビデオ

チャットで行うようになりました。資料の受け渡しや孤立への配慮から週に一度は会議などに合わせて出社しますが、普段は定時に合わせてすべて自宅で仕事をしています。

現在は英語圏の 海外法人窓口として

昨年から日常業務に加え、日吉インディアの窓口として、現地スタッフと本社の間で働いています。こちらの計画や意向を示しながら業務の進捗を管理したり、現地の皆さんとともに営業上の課題や業務改善について考えたり、会社として育っていく喜びを、国境を越えて分かち合う毎日です。子どもの成長など、家庭の環境が整えば、いずれは海外出張にも出かけたかと考えています。このように、やりがいを感じながら日々過ごすことができるのも会社に理解があったからこそと感謝しています。

在宅勤務は活躍できる機会を広げる手段のひとつ。職種によって向き不向きもあるでしょうが、働き方の可能性を広げます。経営者の皆さんにとっては検討の価値があると思います。